

(問題先頭の丸文字は問題を解ける学年を示し各学年で学ぶ項目は全てその学年に含めます。)

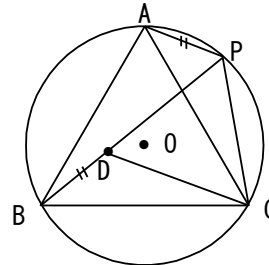
③ : (問題が G : 良い、A : 基本、D : 代表的、S : 新規性、H : 高水準、F : 標準的)

★ (40点必須)、★★ (60点必須)、★★★ (75点必須)

246g020128高専s3m1 2001年 国立高専 難易度3

右の図のように、正三角形ABCが円Oに内接している。

頂点Bを含まない弧AC上に点Pをとるとき、  
次の問に答えよ。



- 1) ★★BP上に点Dを $BD = AP$ となるようにとる。このとき、 $CD = CP$ であることを証明せよ。
- 2) ★★ $AP = x$  cm、 $CP = y$  cmとするとき、BPの長さを求めよ。
- 3) ★★正三角形ABCの1辺の長さを $a$  cmとする。Pが弧AC上を動くとき、 $AP + CP$ の長さの最大値を求めよ。

問題の解き方と復習のポイント

キーワード=正三角形

キーワード=弦の最長=直径

隠れた言葉=合同、円周角

1)  $\triangle APC$ と $\triangle BDC$ において、

$AC=BC$  (正三角形の1辺)・・・①

$AP=BD$  (仮定)・・・②

$\angle PAC=\angle PDC=\angle DBC$  (同一弧上の円周角)・・・③

①、②、③より、2辺とその間の角がそれぞれ等しいので

$\triangle APC\equiv\triangle BDC$ である。

合同なる三角形の対応する辺の長さは等しいので

$CD=PC$ である。

2)  $\angle BAC=\angle BPC=60^\circ$  (同一弧上の円周角)

$\triangle CPD$ は $CD=PC$ から二等辺三角形である。即ち底角が $60^\circ$

の二等辺三角形ということは正三角形ということである。 $PC=CD=PD$

$BP=AD+PC$ に等しいので $BP=x+y$ である。

3) 2) より $AP+CP$ は点Bから弧ACまでの距離である。

最大に長い線分はBと中心Oを通る線分である。

円の半径は $\frac{1}{2}a\sqrt{3}\times\frac{2}{3}$ である。すなわち、 $\frac{\sqrt{3}}{3}a$

$BP$ の最大値は直径の $\frac{2\sqrt{3}}{3}a$  (cm) である。